

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

英語に力を入けていて、海外研修も行っている所に魅力を感じました。また、チーム医療にも力を入けている所にも関心を抱き、自分の夢を実現することができる環境が整っていると思ったので、志望しました。海外で働きたいと考えているので自分に合った勉強ができると思ったことも志望した理由です。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕数学(フォーカスゴールド)を徹底的にしました。化学(センター)を始めから進めた。単語語を毎日した。学校の課題として出された英語の長文を解き、解説をしっかりと読んで一週間後にもう一度、同じ問題を解くようにしていた。アプリで英会話で間違えた問題を毎日寝る前に日音記していた。各教科何回も復習していた。とらえることで、成績が伸びたので復習は大事。

〔夏休み〕化学(センター)で間違えたところを徹底的にしました。化学の教科書を端から端まで何回も読んだ。単語語、文法、イディオムなどを毎日できるだけ覚えるようにしていた。数学は、センターの過去問を解いていた。

センターの過去問で間違えた問題はフォーカスゴールドで似た問題を見つけて、何回も解いていた。英語は英語のセンターの過去問と学校の課題を解いていた。何冊も参考書は買わず、学校で配られたものを完璧にすることで、入学試験は満点が取れた。参考書を買うと、何冊も買わなければならないので、何冊も買わないで済む。

〔2学期～入試直前〕化学(重要問題集)を進めた。赤本も少し進めた。英語と数学はセンターの過去問を解いていた。化学、数学の教科書を毎日読んだ。化学のセンターや校内模試で間違えた問題を1シートに見たり、分かりやすく自分で解説をまとめた。有難い複雑な問題をセンターや今解いた過去問の中で間違えたものだけを何度も解いた。学校の空き時間に、化学の教科書を読んだり、イディオム、文法などを覚えていた。学校の空き時間を有効に(使うこと)、他の受験生に勝つために大切なことである。入試直前はセンターの過去問をたくさん解くと思いますが、見直しをすることが、解くことより大事なことです。解いたら、その日に見直しを必ずしてください。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は、勉強に集中できるように、学校の帰りに塾に行き、塾の自習室で勉強するようにしていました。

勉強シートに自分の一日の勉強内容や時間などを記録するようにしていました。勉強シートに一日のことを記録することで、自分がどのくらい勉強したのかを確認でき、モチベーションも上がるのでおすすめです。

受験期間には運動をほとんどする時間がなかったため、私は、音記科目をする時には、ストレッチをするようにしていました。スマートフォンの中のアプリを消して、時刻を見るための物として、スマートフォンを使っていました。

テレビは朝はニュースを見る時だけ、使っていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は受験生で大切なことは、最後まで諦めないことだと考えています。受験生は一度は、勉強のことで悩み、投げ出したくなることもあると思いますが、私も自分の思うように成績が伸びず、塾の自習室で半泣きでずっと自分の半泣きを見て、心は元氣張っているのに、なんで成績が伸びないのだろうと思ったり悩んだりすることが多かったのですが、そこで諦めずに勉強を継続したことで同志社女子大学に入ることができました。